

「広場をつくろう」

舞台芸術(演劇)ワークショップ&発表会

参加者募集



「広場をつくろう」

とは・・・

障がいがあるないに関係なく、参加者同士が歩幅を合わせ、時間と空気を共有し、互いに人間の魅力を発見し合あえることは、舞台芸術（演劇）の持つ力だと考えます。「広場をつくろう」では、演劇の持つ力を通して、相互に高めあえる場所、継続的にできる場所＝「広場」をつくることを目指しています。

演劇発表会

ワークショップで取り組んだ成果をお客さんの前で発表します。

2018年 1月 12日(金), 13日(土)

会場：広島市東区民文化センター スタジオ2
(〒732-0055 広島市東区東蟹屋町 10-31)

「タイトル未定」演出：永山智行 脚本：柳沼昭徳

※演劇発表会に向けて、ワークショップとは別に2～3回の練習会を予定しています。

【講師プロフィール】

永山智行（ながやまともゆき）

1967年生れ。劇作家、演出家。劇団こふく劇場代表。
2001年『so badyear』でAAF戯曲賞受賞。同作をはじめ、戯曲は劇団外での上演も多い。2006年10月から約10年間、公益財団法人宮崎県立芸術劇場の演劇ディレクターを務めた。また、2007年からは障がい者も一俳優として参加する作品づくり（みやざき◎まあい劇場）に取り組み、地域における演劇の質の向上と、広がりをお願い活動している。

【脚本家プロフィール】

柳沼昭徳（やぎぬまあきのり）

京都の劇団「烏丸ストロークロック」代表。
フィールドワークを行いながら現代社会のあり様に向かい合い、モノローグを活かした心象風景を作品に描き込む事で濃密な舞台を創り出す。全国各地で高校生から高齢者までを対象とするワークショップや、市民参加劇の脚本・演出も手がける。
第60回岸田國士戯曲賞最終候補ノミネート
平成28年度京都市芸術新人賞受賞

※当日は動きやすい服装でお越し下さい。

※各会場、駐車場がなかったり、台数が限られていますので、乗り合いでお越しいただくか、公共交通機関にてお越しいただきますようお願い致します。

【ワークショップへの申し込み方法】 以下のFAX・ホームページの申し込みフォームでお申込みください。

FAX ▶ 082-831-6889

HP ▶ <http://hululu.jp>

ワークショップお申込み用紙

氏名（ふりがな）	所属（ふりがな）
年齢（または学年） 歳（年）	演劇経験 有 ・ 無
TEL ※ワークショップ当日に連絡のつく番号	E-MAIL ※パソコンからのメールを受信できるもの @
参加を希望するところに○をつけてください。 ワークショップ① ・ ワークショップ② ・ ワークショップ③ ・ ワークショップ④(22日・23日)	
通信欄（質問、スタッフに伝えておきたいこと等）	